

What's
this?

from
Austria



卵のパックに入れられた華やかな色合いの飾り。これは、ウィーンの広場で見かけた「イースターエッグ」です。

十字架にかけられたイエス・キリストが、3日後に復活したことを祝う「イースター(復活祭)」。今年は4月4日でした。カトリックの影響が根強いオーストリアでは、クリスマスに次ぐ大きなお祝いの日です。子どもたちは、庭や家の中に隠された卵やお菓子、おもちゃなどを探すエッグハントを楽しみます。生命誕生の象徴である「卵」は、多産の「ウサギ」とともにイースターのシンボル。家庭ではネコヤナギの枝に卵の飾りをいくつも吊るします。こうした飾りは、イースターの2週間ほど前から広場などにたち並ぶ屋台で売られます。

写真は本物の卵の殻から作られたものですが、ガラスや木製のもの、卵型のキャンドルやお菓子(チョコレートなど)も登場します。

バレンタ愛/オーストリア・ウィーン在住 海外書き人クラブ会員

写真のダウンロードは
こちらから



カラフルなイースターエッグや、売り場の様子がわかる写真を用意しました。授業などにご活用ください。